

ICTで創る新しい農業・教育のかたち (水田センサを活用した革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト)

事業概要

【新潟市における農業の課題】

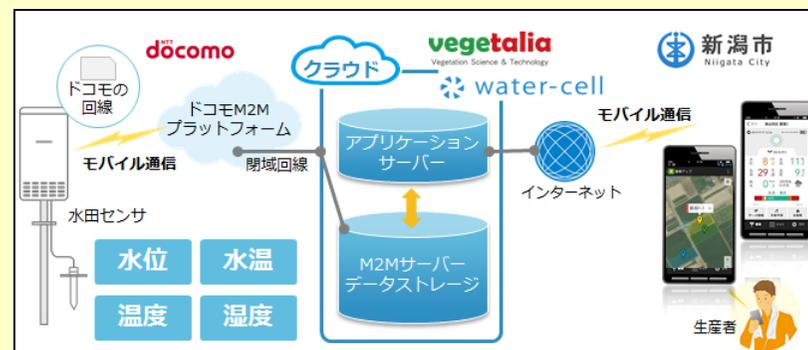
- ・農業経営体数の減少
- ・一経営体あたりの管理面積の増加(圃場の広域・分散化が加速)
- ・コメ生産費、栽培管理時間の上昇
- ・新規就農者への栽培技術の継承

民間企業の有する革新的技術(ICT)を導入!

【革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト】

H27年5月にNTTドコモ、ベジタリア、ウォーターセル、新潟市で連携協定を締結し、**水田センサを活用した大規模実証を開始**(モニター数22名、300基設置、面積460ha)

水田センサ(Paddy Watch) 田んぼの見回り、代行します!



水田における水管理(田んぼの見回り)の省力化を実現!

農業×ICT

田んぼの見回り	労力削減率(最大)	労力削減率(平均)
①実施回数(回)	▲67%	▲35%
②延べ人員(人)	▲66%	▲27%
③移動距離(km)	▲76%	▲33%
④確認時間(h)	▲76%	▲43%

- ・モニター22名の声を反映し、改良された水田センサが、Paddy Watch(商品名)として、H28年4月より**全国販売開始!**

教育×ICT

- ・本実証プロジェクトの「**スピンオフ企画**」として、水田センサを「教育」にも活用
- ・市内小学校の学校教育田に設置し、**ICTを活用した児童の農業体験学習を実現!**



事業詳細

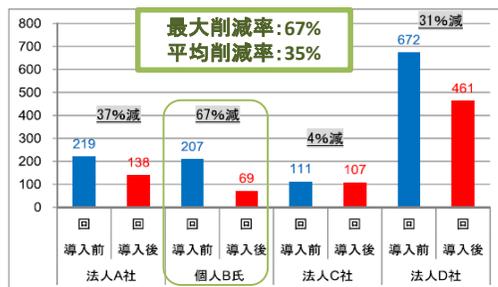
事業名称	革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト		
事業主体	新潟市		
支援省庁	独自施策	支援事業名	
関係団体	新潟市、NTTドコモ、ベジタリア、ウォーターセル		

実績・効果

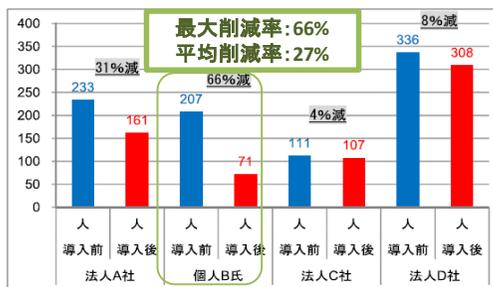
◆重点モニター4名の定量的評価結果

平成28年度水田センサ活用に関するアンケート調査結果について(定量的評価)

1 水回りの実施回数について(5月~9月の累計)



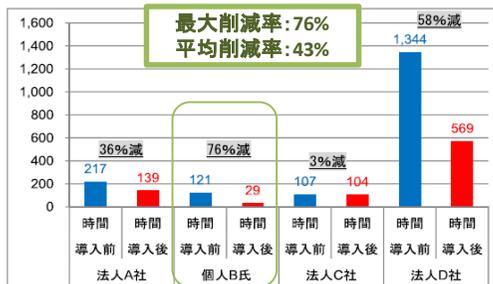
2 水回りに要した述べ人員(5月~9月の累計)



3 水回りに要した移動距離(5月~9月の累計)



4 水回りに要した時間(5月~9月の累計)



⇒ H28.4から全国販売開始(Paddy Watch)

[URL]<https://field-server.jp/paddywatch/#top>

※なお、法人D社については、前年と比較すると面積が約2倍(圃場枚数が約3倍)に規模拡大している為、数値補正を実施。